

緑色で示した部分は、冊子で取り上げている「授業の一例」です。

単元的主要な学習活動

第1時

バスケットボールの特性や学習の進め方、安全面の注意について理解する。試しのゲームをする。

- 1 本時のめあてと活動内容を、ロイロノートを活用して確認する。

バスケットボールの特性や学習の進め方を理解しよう。

- 2 バスケットボールの特性や学習の進め方を理解する。
- ・バスケットボールの特性や安全面についての注意事項を考え、理解する。
  - ・学習の進め方を理解し、単元の見通しをもつ。
- 3 準備運動、基本的なボール操作の確認をする。
- ・単元を通して行う準備運動の行い方を確認する。
  - ・既習事項である基本的なボール操作（ドリブル、パス、シュート）を復習し、自己の技能について確認する。
- 4 試しのゲームをする。
- ・全学年までの学習を想起しながら、ゲームを行う。
  - ・個人やチームの課題を把握する。
- 5 ロイロノートを活用して本時の振り返りをする。
- ・本時での気づきや、これからの単元の学習で取り組んでみたいことについて記入する。

【めあて】バスケットボールの特性や学習の進め方を理解しよう

本日の流れ  
①バスケットボールはどんなスポーツ？  
②行う上でのルール  
③準備運動の仕方  
④基本的な技能について思い出そう  
⑤安全面についての注意事項  
⑥試しのゲーム  
⑦振り返り

【学習活動1】ロイロノートを活用して確認した、本時のめあてや流れ。



【学習活動3】ボールを使った準備運動を行い、基本的なボール操作の向上につなげる。

第2時

基本的なボール操作（ドリブル、パス、シュート）の練習を行う。

自己の技能に応じたボール操作の練習を選んで行う。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてと活動内容について、ロイロノートを活用して確認する。

動きながら、様々な種類のパスを受けよう。

2 チームごとに準備運動を行う。

3 前時で確認した基本的なボール操作について、自己の技能に応じた練習を行う。

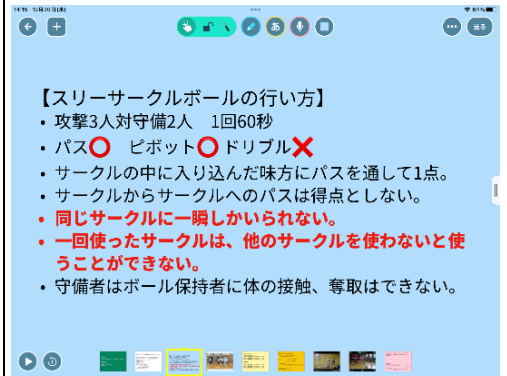
- ・ドリブル、パス、シュートそれぞれの練習を行い、自己の技能について確認する。
- ・自分に必要なボール操作の練習を選んで行う。

4 次時の活動につなげるため、動きながらパスを受ける練習を行う。

- ・チェストパス、バウンズパス、ショルダーパス、4種サイドハンドパス類のパスの行い方を確認する。
- ・スリーサークルボールを行い、動きながらパスを受ける。

5 ロイロノートを活用して本時の振り返りをする。

- ・ボール操作を中心に振り返りを記入する。



〔学習活動3〕 テキストでルールを確認してから再度、生徒が実演した動画で実際に確認をする。



〔学習活動4〕 スリーサークルボールを行っている様子。

### 第3時

動きながらパスを受けて、シュートにつなげる練習を行う。技術の名称や行い方を理解する。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてと活動内容をロイロノートを活用して確認する。

動きながらパスを受け、シュートにつなげよう。

2 チームごとに準備運動を行う。

3 動きながらパスを受ける練習を行う。(前時の復習)

4 動きながらパスを受け、シュートをする練習を行う。

- ・空いている空間に入って、攻撃する動きを身に付ける。



〔学習活動4〕 生徒が実演する動画を活用して、パスやシュート技術についての名称や行い方を確認する。

- 5 ロイロノートを活用して本時の振り返りをする。
- これまでに学んだパスやシュート技術についての名称や行い方を確認する。
  - 動きながらのパスやシュートを中心に振り返りを行う。

#### 第4時

空いている空間を意識して、ルールを守りながら3対2のゲームを行う。

- 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてと活動内容をロイロノートを活用して確認する。

ゲームの中で、空いている空間を意識した攻撃を行えるようにしよう。

- 2 空間を見付けるときのポイントを考える。
- 動画を使って空間を見付けるときのポイントを確認する。
- 3 チームごとに準備運動と基礎練習を行う。
- チームの課題に合わせた基礎練習を選んで行う。
- 4 3対2のゲームを行う。
- 空いている空間に入って、攻撃をする意識で行う。
  - ゲームをしていないチームが撮影を担当する。
- 5 ロイロノートを活用して本時の振り返りをする。
- 空いている空間の見付け方を中心に振り返りを記入する。

【空間を見付けるときのポイント】

1. ( ボール ) を持っている人の位置と ( 自分をマークしている ) 敵
2. ( ボール ) を持っている人の位置と ( 味方 と 敵 ) が動いた後
3. 味方と敵の ( 目線 )

★ ( 2 ) つ以上の要素を組み合わせて考えることが大切。

次の動画で練習してみよう！

「学習活動2」 スライドを用いて動画の見方を伝え、生徒に動画を見る際の視点を与える。



【学習活動4】 3対2のゲームを行っている様子。

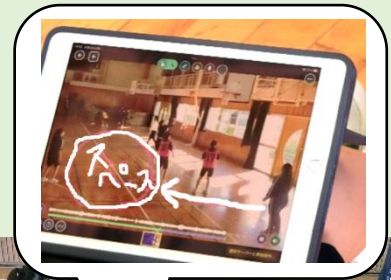
#### 第5時（本時）冊子 p.12 に掲載

3対3のゲームを行い、オフェンスをするときの空間を作りだす動きを考える。ボールを持っていない時の動きについてポイントを他者に伝える。

- 1 本時のめあてと活動内容を確認する。

フリーでパスを受けるにはどうすればよいかを考えよう。

- 2 チームごとに準備運動と基礎練習を行う。
  - ・チームの課題に合わせた基礎練習を選んで行う。
- 3 3対3のゲームを行う。
  - ・オフェンスをするときに空間を作りだす動きを意識する。
  - ・ゲームをしていないチームが撮影を担当する。
- 4 ゲームの動画を見てポイントを考え、仲間に伝える。
  - ・空間を作りだす動きのポイントを考える。
  - ・考えたことを伝え合う。
- 5 ロイロノートを活用して本時の振り返りをする。
  - ・空間を作り出す動きを中心に振り返りをする。



【学習活動4】 スクリーンショットした画像を使って、仲間に考えを伝える。

【めあて】  
フリーでボールを受け取るにはどうすればよいか、自分の注目ポイントを見つけて仲間と話し合おう。

【振り返り】  
相手のボールを前回の授業の時よりはブロックできるようになってきた。敵がどこに動いたかと味方がどこにいるのかを見て、自分がどこに動いたらいいのかをもう少し考えて動かそうと思いました。

【自分の注目ポイント】 ※スクリーンショットを貼り付けて説明しよう。



相手と立っている位置が被ってるから、もっと自分から動いて、被らないようにしようと思います。

【学習活動5】 振り返りの内容。

## 第6時

3対3のゲームを行い、ディフェンスをするときの空間を埋める動きを考える。空間を埋めるようなディフェンスの仕方について話し合い、他者に伝える。

- 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてと活動内容をロイロノートを活用して確認する。

ゲームの中で、空いている空間を埋めるようなディフェンスを行えるようにしよう。

- ・前時の学習の中で見られたよい動きや戦術等を知り、行い方を確認する。
- 2 チームごとに準備運動と基礎練習を行う。
    - ・チームの課題に合わせた基礎練習を選んで行う。

## 【スクリーン】

スクリーンとは、ボールを持っていない一人の選手が、ディフェンスの進む方向の前に立つことで、ディフェンスの邪魔をするプレイのことを意味します。



【学習活動1】 前時の学習の中で見られたスクリーンプレイについて、行い方等を確認する。



- 3 3対3のゲームを行う。
  - ディフェンスをするときに空間を埋める動きを意識する。
  - ゲームをしていないチームが撮影を担当する。
  - 途中でミーティングタイムを設け、空間を埋めるようなディフェンスの仕方について話し合う。
- 4 ロイロノートを活用して本時の振り返りをする。
  - ディフェンスを中心に振り返りを記入する。



【学習活動3】 空間を埋める動きを意識した3対3のゲームの様子

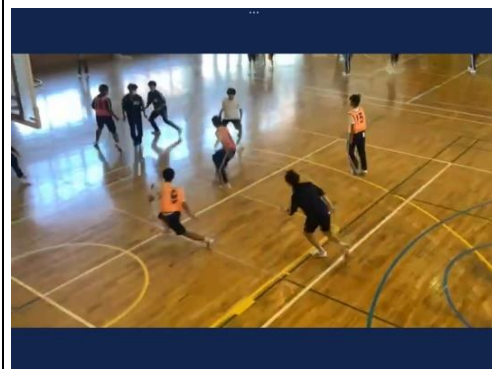
### 第7時

自分の役割を確認しながら、ボールを持っていないときの動きを意識して5対5のゲームを行う。

- 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてと活動内容をロイロノートを活用して確認する。

ボールを持っていないときの動きを意識して、素早く攻守を切り替えながら、ゲームを行おう。

- 前時の学習の中で見られたよい動きや戦術等を知り、行い方等を確認する。
- 2 チームごとに準備運動と基礎練習を行う。
    - チームの課題に合わせた基礎練習を選んで行う。
  - 3 オールコートで5対5のゲームを行う。
    - 自分の役割（ポジション等）を確認してからゲームを行う。
    - 前時まで学習した、ボールを持っていないときの動きを意識する。
    - ゲームをしていないチームが撮影を担当する。
  - 4 ロイロノートを活用して本時の振り返りをする。
    - ボールを持っていないときの動きを中心に振り返りを記入する。



【学習活動3】 ボールを持っていないときの動きを意識した5対5のゲームの様子

【めあて】  
ボールを持っていないときの動きを意識して、素早く攻守を切り替えながら、ゲームを行おう。

【振り返り】  
5対5にすると相手の動きを見にくくなり、思ったようにパスやシュートをしづらくなった。もっと相手の動きや味方の動きを見てやりたい。トラベリングをしないように意識するのも大変でした。

【学習活動4】 振り返りの内容。

## 第8時

### 5対5のリーグ戦を行う。

- 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてと活動内容をロイロノートを活用して確認する。

これまで学んだことを生かして、仲間と協力してゲームを行おう。

- 2 チームごとに準備運動と基礎練習を行う。
  - ・チームの課題に合わせた基礎練習を選んで行う。
- 3 オールコートで5対5のゲームを行う。
  - ・前時までに学習したことを生かし、仲間と協力しながら行う。
  - ・ゲームをしていないチームが撮影を担当する。
- 4 ロイロノートを活用して、本時と単元全体の振り返りをする。
  - ・それぞれの振り返りを共有し、感想等の交流をすることでお互いの学びを認め合う。

#### 【ゲームの流れとルール】

1. 人数：5対5（オールコート）
2. 試合時間：1試合（2分×2）
3. 試合順：①A対B ②B対C ③C対A
4. スタート：ジャンプボール
5. 審判、得点、撮影等はゲームをしていないチームが担当  
※ 撮影した動画は、先生に送信する。

### 自分たちで試合を運営する！

【学習活動1】 ロイロノートを活用して確認した、ゲームの流れやルール

#### 【めあて】

これまで学んだことを生かして、仲間と協力してゲームを行おう

#### 【本時の振り返り】

相手の裏をとって、走り込むことをチームで意識しました。パスを出すタイミングが難しかったけど、上手くいったときはシュートにつながって良かったです。

#### 【単元の振り返り】

元々バスケの知識はあまりなかったのですが、レイアップシュートやジャンプシュートの仕方やダブルドリブルというルールがあることが分かりました。他にも、スペースなど空間の見方や、ボールを持っている人の動きや仲間と敵の位置に注意して試合をすることができました。チームで話し合いながら作戦を立てたり、動き方を考えたりしてゲームをすることは、楽しかったです。作戦が上手くいったときは、とてもうれしかったです。

【学習活動4】 振り返りの内容。

## 体育科・保健体育科における評価の考え方

### <評価の重点>

毎時間の指導においては、単元の目標を踏まえ、育成を目指す資質・能力の三つの柱に基づき、目標を設定しますが、全ての児童・生徒に対して、全てのことを指導し評価することは現実的ではありません。三つの柱に留意しながらも、本時において重点的に指導する内容を絞り、設定した評価方法に基づき適切に評価することが大切です。

単元を通して、評価規準の評価内容が網羅できるように、1時間につき、1～2程度の評価の観点にするなど、評価をするに当たり、無理のない計画を立てるようにします。(評価計画の「知」の①は、評価規準の知識・技能の①について評価することを示しています。)

### <評価の進め方>

観点別学習状況の評価は、単元の終末にまとめて行うものとして捉えるものではなく、指導場面に対して評価の機会を検討し設定することが重要です。

各観点に対応する適切な評価方法により個々の児童の評価材料を収集し記録に残すとともに、必要な手立てや指導を行い、必要に応じて形成的な評価をしながら、総合的な評価において最終確認し、観点別学習状況の評価を確定していきます。

### <評価後の指導の継続と再評価の重要性>

単元の前半に行う評価については、その結果をもって単元全体の評価とするのではなく、単元後半につなげる指導のための評価という側面を踏まえ、単元終了時まで指導と評価を繰り返すことが重要です。

ある児童・生徒において、単元の前半に評価の機会を設定した項目がBまたはCであったものを、単元の終盤までにAまたはBとなるよう指導の充実を図ることが本来の評価の在り方です。

### (参考)

文部科学省 国立教育政策研究所

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 体育】 (令和2年3月)

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 保健体育】(令和2年3月)

栃木県教育委員会

新学習指導要領に基づく指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料 小学校編  
(令和2年7月)

新学習指導要領に基づく指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料 中学校編  
(令和2年12月)